

「リウマチ性疾患が脳梗塞の臨床像および転帰に及ぼす影響の検討」 について

○ 研究の意義・目的

関節リウマチを含むリウマチ性疾患を有する患者さんの脳梗塞の発症率が一般の集団より高いことが知られています。しかし、リウマチ性疾患の罹病期間や疾患の重症度、治療薬などが脳梗塞の急性期にどのような影響を及ぼすかは分かっていません。今回の検討によりこれらを明らかにし、より質の高い急性期脳梗塞治療を行うことを目的とします。

○ 研究対象者

承認日から 2025 年 12 月 31 日までに、広島大学病院脳神経内科および近森病院に急性期脳梗

さんで、脳神経内科に相談があり診断、治療に関わった患者さんも含みます。

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5201

広島大学病院 脳神経内科学 教授 丸山 博文 (研究責任者)

診療講師 青木 志郎 (担当者)